第二十七話

大スズメ蜂に心臓部刺され

仙人の森に夏休みを利用して、いろいろな下界人が予約をして実践体験に来るようになる。

ここが日は、安城市から親子連れが来山する事になりている。

私はその体験者の為の準備をしている。

今日の下界は「社会」生活が豊かになり、ちやかんのみとつにしても お金で買うのである。

子どものころからお金で、なんでも手にいれる事を教え育て、いるのである。

このような現代の親の躾

が、のちの人生に弊害を与える事になっている。であるから、少々面倒であるが、自分の手で作れる物は、子どもと一緒になって工夫をやりながら、実行するのだ。

であるから、このような、このような、乎い躾の親の元で育った子どもは、人間としての知識を体いっぱいに蓄えて成長するであろう。

このように作れる物はつくって日々の生活でかしていく事がなされていない社会が、最近の乱れたよの中を進行させている、要因になっている事を、忘れては

コクヨ ケ-10 20×20

さて。話しは森へ戻りますぞ。今日来山（体験）される親子の恵に竹のコップに。竹のオワンを作ろう！竹の器で食事をするなんて、いまの社会でまずないであろうから！今日の体験が今後人生にいかされる事を願って！

四〇〇メートル位離れたけわしい竹やぶに行き竹を選び、探がしていた！

そん時に！大きな木の根本に足を入れたときだった！黒い物体が！私をめがけて！突き進んできた！私の心臓の上に体当りした！良く見ると！大きなスズメ蜂のようだ。しかし！一匹目の蜂の針は！

私の体には！刺さらなかった
ようだ！ホットした！だが
二匹目の蜂が飛んでさて
また同じ場所に体当た
りした！チクッと感じた。
しまった！今度は！やられた
ぞ！少々痛みを感じた。
このときに私は！つト！
頭を！よぎった！ニュース！
聴いていた！蜂に刺されて
ショック死の人がいた事を
思い出していた。
人ごとではないのだ！私も
げんに刺されているのだ。
私も死んでしまうのだろう
か！まだやる事がいっぱい
あるのだ！まだ生きていた
い。どうしようか！まよっ
ている時間なんてないぞ！
私は！その場を離れて！

コクヨ ケ-10 20×20

上半身を！むき出して、蜂に刺されたところを！両手の爪で力まかせ、ツまみ血を出し、蜂の毒も出ていれば良いが！

蜂に刺された痛みより！私が手でツマミ出した、痛みの方がたまらんのだ。

あとは！天からの答を待つしかない。私に出来る事はさったのだから。

そのあと、私は竹を切っていろりの所まで行き！コップとちゃわんを作っている。

しはり！体の調子は変んである。

今私の体の中では！蜂の毒と戦っているのだな！負けてたまるか！

コクヨ ケ-10 20×20

そうした時に

「仙人ーーこんにちは！
来ましたヨーー」

オースッ良くこられた！
道中が車でこんでいただ
あろう！

「さすがにドライバーのプロ
の私でも！少々いらつきまし
たね！でもね！仙人と会える
と思うと！いらいらも減り
ましたよ。」

さすがお客さんを運んで
おられるだけあって人の心
を開くのが上手でござる。
私も！タクシーに乗せて もら
をかな！

「仙人さんとドライブが出来
るなら！無料ですことよ！」
今日きたこの子は！教師
になりたいといっておりますす

ロクヨ ケ-10 20×20

仙人さんに力を与えてもらわないと……」

それは良い事でござる。

この頃の教師は、遅しさがないようだから、

大自然のなかで子どもとともに遊び会話を行い、

こどもの話しを聴く耳を身に付けた教師になってもらいたいものじゃ。

「さすが、人生相談の達人、ところで仙人さん、私ね、先から、少々気にかけているのですが、仙人さんの、、、

（おでこ）から汗がまったく引かないのですが、そんなに暑いですか、」

気ずきましたか、この事の話しは、やらないでおこうと決めていたのだが、

気ずきました。この事は、口に出さないでおこうと。決めていたのですが。いやね。お母さんによけいな心配を掛けては。仙人の森へ来た意味がなくなるから。

実はですね。訳を話すと。こう言うことなんです。お母さん達に大自然の良さを。たっぷりと。体で。

まずは。口からと思い竹のコップを作ろうと竹を切りに。いっていた時に。

大スズメ蜂に心臓の上を刺されたという事です。

「仙人。病院には行かないのですか。いった方が良いですよ。もしもの事があったらどうするのですか。」

大丈夫ですよ。何事も実

コクヨ ケ-10 20×20

践体験あるのみですよ。
天が、力を与えて人生です
。その竹が作ったコップ
で、まずは、乾杯
「仙人さん、もう限界と、
思った時は、私たちにかま
わずに病院へ行って下さい。
」
楽しい体験日に気をつかわ
せて、脩さんでござる。

コクヨ ケ-10 20×20